



やってみよう！

# 消費材開発改善運動

消費材開発改善運動は「あったらいいな」と思う消費材を組合員が作り出す活動。暮らしの中で感じている課題を、消費材の開発や改善を通じて解決します。神奈川県独自品については神奈川の生産者団体さんえすクラブとコラボ開発もできます。今回は、さがみ生活クラブと(株)ニッコーのコラボ開発を紹介します。



## みんなの畑から おさつ皮ごと！ミニたいやき チーズイン

さがみ生活クラブでは(株)ニッコーの自社農場の援農活動を行っています。農場のサツマイモから消費材の「大学いも」が作られますが、皮や端の部分は廃棄されます。これを知り、「サツマイモを皮まで使い切る消費材」の開発を決めました。

### 開発の流れ

1 新たな参加者との出会いも期待し、機関紙や消費委員会でメンバーを募集し、集まった12名で「チームおいも」を結成！



2 市販品も参考に、何を開発するか検討し、サツマイモ餡のたい焼きに決定。味や作りやすさ、価格も考慮し、(株)ニッコーと皮ごとサツマイモペーストにひと工夫した餡を検討しました。



(株)ニッコーのみなさん

3 候補を絞り、デポールの試作品コンテストやアンケートで意見をもらいました。試食や話し合いを繰り返し、悩みに悩んだ末、チーズ入りのミニたい焼きに決定しました。



4 チームで話し合っ提案書を作成し、コンmons・デポー消費委員会やさがみ生活クラブ消費委員会へ提案します。



### “あったらいいな”を消費材へ

消費材開発改善運動で、生活クラブの自主基準を知り、消費材として実現できるか一緒に考えてみませんか？

#### やってみたい！という方は…

所属の地域生協・コンmons・デポー機関紙\*に記載の連絡先へお問い合わせください。

\*カタログ、デポー情報便、デポーで配布されます。

\*消費委員会：持続可能な社会の実現を目指し、食の分野から考え、実行している組合員組織。

### 「チームおいも」メンバーの感想

1つの消費材を完成させるために色々な工程があり、試食や話し合いを何度も重ねてやっと完成するのだと体感しました。食品ロスの観点から、畑で育ったさつまいもを皮ごと使う点も大切にしました。たくさんの方に食べて広めてほしいです。

海老名コンmons

瓜生 文乃さん

私たちの思いを汲み取って試行錯誤して下さった(株)ニッコーの方に感謝です。ありがとうございました。

あやせコンmons

矢部 紀子さん

### 消費委員会より

サツマイモの苗床作りからパッケージ制作まで、消費材生産の全ての段階に関わる大変貴重な経験ができました。チーズ入りサツマイモ餡のミニたい焼きはコンテストでも一番人気だった品です。パッケージにさがみの機関紙で人気のキャラクター「めーちゃん」を使い、親しみの持てる消費材を目指しています。



あなたも「あったらいいな」の声を伝えて開発改善にチャレンジしませんか？消費材がぐんと身近になりますよ。

海老名コンmons

大島 さつきさん

伊勢原コンmons

玉井 ふみ子さん